

ひとみらいプレイスとは“未来に生きる人づくり”をめざす“人が集う場”という思いが込められています。子どもから高齢者まで、年齢、国籍、文化を問わず、まちの最大の財産である人に着目して幅広い人づくりを支援し、本市の人づくり支援機能の新たな展開を目指します。



ごあいさつ

北九州ひとみらいプレイス 所長 安藤 英和

あけまして
おめでとうございます。

新年にあたり皆様のますますのご活躍と末永きご多幸を心からお祈りします。

昨年は、北九州ひとみらいプレイス発足3年目という将来に向けてしっかりと基盤固めを行う節目の年でありました。

振り返りますと、第一にひとみらいプレイスの今後のあり方として、組織的には「北九州市における人づくりの官民協働の拠点エリア」、人づくり支援事業としては「主体的に学び、実践する人材の育成」という中長期的方向性に基づき、具体的事業の取り組みをスタートさせました。

第二には、各施設による連携事業の大幅な拡充、気ままにセミナーの事業化にも成果をあげることができました。

第三には、新たに正式メンバーとして“放送大学北九州サテライトスペース”が加入し、全11施設となり連携の和が質・量ともに一層充実してまいりました。

第四は、副都心黒崎のにぎわいづくりを目指す第3回ひとみらい交流ウィークでは、参加者総数は前回は大きく上回り、目標値を5,000人以上超える50,741人の集客を実現できました。

人づくり講演会や黒崎こども商店街など各個別イベントの定

着とともに、ひとみらい交流ウィークの知名度向上による新たなイベントの参入など所期の目的・目標を達成することとなりました。

参加いただきました皆様そして関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

さて、新たに平成28年を迎えることとなりました。

今年の目標としては、まずはひとみらいプレイスを市の施策の中で体系化するために平成28年度策定予定の新たな北九州市生涯学習推進計画の中で明確に位置付けます。

そして、一つには中長期的方向性に基づき、人づくり支援事業として例えば地域統合リーダーの育成事業など新たな具体的な取り組みに着手します。

二つ目に、軌道化してきた連携事業や気ままにセミナーを確実に事業としての定着化を図ります。

三つ目には、ひとみらい交流ウィークについて副都心黒崎のにぎわいづくりという本来目的を再度見つめ直し、商店街などのまち中でのイベントの一層の充実をめめます。

平成28年は、これまでの3年間の実績を踏まえ、引き続き認知度の向上、組織的充実、事業の定着化、そして新たな事業への取り組みなど、引き続き本市における新たな人材育成の拠点を目指し努力してまいります。

皆様方の一層のご支援、ご協力を切にお願いいたします。



あけましておめでとうございます
今年もどうぞよろしくお願いいたします

平成27年4月から
新たに加入しました。

放送大学 北九州
サテライトスペース



ひとみらい交流ウィーク

■開催趣旨

副都心黒崎のにぎわいづくりを目指す「ひとみらい交流ウィーク」は、今回で第3回目となりました。A会場(コムシティ)では、ひとみらいプレイスを構成する各施設による文化祭や記念行事など、B会場(曲里の松並木公園)では「黒崎大雑貨市」、C会場(商店街エリア)は、たくさんの子どもたちが集まる「黒崎こども商店街」を中心に黒崎地域の皆さんとともに、地域の活性化を目指しています。

■実施期間 ひとみらい交流ウィーク【平成27年11月4日(水)～14日(土)】

A会場 コムシティ

人
づくり

国際交流まつり「世界のママの味」



ユースステーション文化祭



NPO・市民講演会
命を救われた犬「夢之丞」(ゆめのすけ)
～殺処分ゼロへのチャレンジ～



ビブリオバトル



子ども向けクイズラリー



英語で語る自分の国「英国」



各種パネル展

八幡郷土会
活動報告パネル展



出張！
漫画ミュージアム



「映画の街・北九州」
フィルム・コミッションパネル展



黒崎城跡発掘調査報告会



税を考える週間



コムシティひとみらい文化祭



西部障害者福祉会館記念行事 であい・ゆめ広場



コムシティひとみらいフェスティバル



子どもの館 開館14周年記念



筑前地区研究集会歴史講座



世界糖尿病デー
ブルーライトアップ in 北九州



新たに開催
しました！

九州共立大学50周年記念
公開講座「北九州の介護予防の展望と実践」
スポーツで介護ナニカ蹴っ飛ばせ！



漫画体験、アシスタント体験



魅力発進！JR九州のD&S列車
(観光列車)たち



人づくり講演会

“永遠の知的生活”～人は老いるほど豊かになる～



参加者の声

- 「老いる事は出来ていた事が年々少なくなっていると思っていましたが、今日お話を聞き楽しみながらまだまだ、新しい事にもチャレンジしたいと大変元気と勇気を頂きました。」(60代男性)
- 「今日の講演とても勉強になりました。私も楽しく老いて誰からも好かれる人でありたいと思います。ありがとうございました。」(70代女性)
- 「固定観念から発想の転換、プラス発想、逆転の発想が必要な事を再認識した。1億総活躍社会こそ、老人の出番であり、この発想が必要だとおもう。生き甲斐、勇気を与えられる。」(80代男性)

5万人が
来場しました！

B会場 曲里の松並木公園

にぎ
わい



黒崎大雑貨市 LUGAR BONITO



C会場 黒崎商店街エリア

にぎ
わい

黒崎ワークショップ



黒崎こども商店街



1万5千人が来場！

北九州ひとみらいプレイスと連携した「ゆめをそだてる!黒崎こども商店街」も、2回目を迎えました。今回もたくさんのお子様に参加してもらい、多くの笑顔を見ることができました。また、ボランティアの輪も拡がり、大勢の皆さんにご協力いただきました。本当にありがとうございました。しかし、今回も受け入れ店舗等が足りず、希望者の3割の方には、お断りせざるを得ない状況でした。抽選に漏れた皆様には大変申し訳なく思っています。次回は、企業や公的機関などにも、さらに参加を促し、より多くのお子様に参加してもらえるよう、街全体に拡がる取り組みを検討します。また、このイベントを契機に、その日だけではなく多くの方が普段から黒崎を訪れる良い機会にしたいと思います。今後とも、楽しく学び「ゆめをそだてる!黒崎こども商店街」をどうぞよろしくお願いいたします。

黒崎こども商店街 実行委員長 田中 大士

子どもの館

7F

子どもの館は「安心・安全・快適」に子どもやファミリーが楽しめる遊び場、子育て中の親を支援する場、異年齢の方たちとの交流の場を提供し、乳幼児から中・高校生まで、遊びやふれあいを通して、子どもたちが充実感や達成感を得る事を目的として平成13年11月に開館しました。また、様々な子育て支援事業(イベント・講座・教室等)を実施し、子どもの健やかな成長の支援を目指しています。

子どもの館は家族みんなで楽しめる6つのコーナーがあり、その他、子ども一時預かり室、子どもホール、プレイルーム、パーティールームなども完備されています。



キッズハウス



ボールプール



あそび工房



変身スタジオ



チャレンジスポーツ



ふしぎ探検

- 開館時間 10:00~19:00(子ども一時預かり室は18:00まで)
- 休館日 不定期(年24日程度)、年末年始(12月31日~1月2日)
- TEL 093-642-5555
- FAX 093-642-5677
- ご利用料金等の詳細はホームページをご覧ください。
<http://www.kodomo-how.com/>

九州国際大学地域連携センター

2F

大学を中心に中学校から大学院までの英知を地域社会に開放するとともに、人づくりに貢献し、地域づくりに寄与します。



教室



事務室

市民講座・市民相談

皆さんの生活の中で関わってくる様々なトラブル。年金問題、税金問題、相続問題及び不動産問題などを取り上げて講座・相談を行っています。

自分が、家族がトラブルの被害者、加害者にならないために、問題発生の際に早く気づき、早期に適正・適法な対処が出来る知識を得てみませんか。

- 開館時間 10:00~19:00(土曜日は10:00~17:00)
- 休館日 日曜日、祝日、年末年始、臨時休館日有
- TEL 093-631-2203
- FAX 093-631-2204
- 費用等の詳細はホームページをご覧ください。
<http://www.kiu.ac.jp/organization/rccenter/>

放送大学 北九州サテライトスペース

3F

平成27年4月に新たに加えました。

放送大学は、通信制の大学として昭和58年に設置されました。「学士(教養)・修士の学位を取得したい」、「キャリアアップに役立てたい」、「豊かな教養を身に付けたい」、「学び直したい」など様々な目的を持って、全国で9万人近い学生が学んでいます。(北九州サテライトは約700人、県全体で約2,500人)授業は300科目以上の中から選択し、インターネット等で自由に学べます。教養学部と大学院(修士、博士)があります。教養学部は、全科履修生(4年~最長10年)、選科履修生(1年)、科目履修生(半年)から選べます。



視聴学習室



面接授業(スクーリング)風景

- 開所時間 9:30~18:00
- 閉所日 月曜日、祝・休日、年末年始
- TEL 093-645-3201
- FAX 093-645-3208
- 費用等の詳細はホームページをご覧ください。
<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukuoka/>